

# ウッド・チェンジの取組について

ウッド・チェンジ協議会参加団体・企業等における取組等について



令和3年10月  
ウッド・チェンジ協議会

# もくじ

## 団体等

公益社団法人経済同友会	2
日本商工会議所	3
一般社団法人住宅生産団体連合会	4
一般社団法人日本建設業連合会	5
公益社団法人日本建築士会連合会	6
一般社団法人日本ビルディング協会連合会	7
一般社団法人不動産協会	8
全国森林組合連合会	9
一般社団法人全国木材組合連合会	10
一般社団法人中大規模木造プレカット技術協会	11
一般社団法人日本林業経営者協会	12
全国知事会	13
全国市長会	14
全国町村会	15
みなと森と水ネットワーク会議	16
ウッドソリューション・ネットワーク (農林中央金庫)	17
公益社団法人国際観光施設協会	18
一般社団法人日本プロジェクト産業協議会	19

## 企業

東京海上日動火災保険株式会社	20
日本マクドナルド株式会社	21
ヒューリック株式会社	22
SMB建材株式会社	23
株式会社大林組	25
株式会社シェルター	26
株式会社JM	27
住友林業株式会社	28
株式会社竹中工務店	29
東急建設株式会社	30
ナイス株式会社	31
ポラス株式会社	32
前田建設工業株式会社	33
三井ホーム株式会社	34
三井不動産株式会社	35
三菱地所株式会社	36
銘建工業株式会社	37
株式会社久慈設計	38
株式会社日建設計 Nikken Wood Lab	39

## 研究機関

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所	40
-------------------------------	----



## ウッド・チェンジ・アクション

### ■ 本会会員（施主・需要側）の理解促進

- 2018年3月に「地方創生に向けた“需要サイド”からの林業改革～日本の中高層ビルを木造建築に！～」を発表し、非住宅部門での課題解決を提言。
- 併せて、需要拡大に向けて、高知県との協働を宣言。本会会員を対象としたシンポジウム（2018年11月）、梶原町視察（2020年10月）などを実施。

### ■ 木材利用推進全国会議の設立

- 2019年11月に、全国44経済同友会、都道府県・市町村、企業・団体などに呼び掛け、「木材利用推進全国会議」を発足。
- 東京都・高知県などと連携し、民間企業を中心とする需給ネットワークの構築、国産木材の利活用に対する国民的理解の醸成などに向けた啓発活動を展開。

## 今後のチャレンジ

### ■ トップマネジメントの理解促進

- 経営者が個人の資格で参加する本会の特色を活かし、企業トップに木造建築の現状を周知していく。

### ■ 木材利用推進全国会議 自己宣言

- 多くの企業が具体的な取り組みに着手できていない中、まず、身近なところから木材利用に取り組む機運の醸成が必要。
- 参加団体に、それぞれが可能な木材利用を宣言いただき、取り組みの共有を図っていく。

## 課題・連携協力の可能性

- （コストが若干割高でも）木材利用を進めるメリットや意義をどう周知していくか。
- 先進的事例の周知などでの協力

## 関連情報

提言「地方創生に向けた“需要サイド”からの林業改革～日本の中高層ビルを木造建築に！～」(2018年3月発表)

<https://www.doyukai.or.jp/policyproposals/articles/2017/180322a.html>



## ウッド・チェンジ・アクション

商工会議所は、地域総合経済団体として、商工業の発展や社会一般の福祉の増進に向けた様々な事業活動を展開している。木材利用促進に向けた取組みについても、自治体等と連携しながら、木材生産地では地元産木材を活用した商工会議所会館建設・特産品の開発支援等を実施。都市部でも企業向けセミナー等を行っている。

### 事例 1. 木材を活用した商工会議所会館建築 (飯能商工会議所 (埼玉県))

同所では、地域事業者による地元・西川材の活用促進の一環として、西川材を多用した商工会議所会館を建設。古来の工法とCLTパネルを適材適所で使い分けることで、先進的な木造建築を実現。



会館来訪者に木造りの良さをアピール

### 事例 2. 鹿沼 WooD INFILL プロジェクト (鹿沼商工会議所 (栃木県))

同所では、地元の森林資源等を活用し、地域事業者の木工および金属加工技術を融合した、ものづくりネットワークを構築する同プロジェクトを展開。建具・造作家具等の商品化や国内外への販路開拓を実施。



東京の大規模小売店舗でも活用

## 今後のチャレンジ

- ・今後、各地商工会議所を通じて、会員企業等に対し、ウッド・チェンジ協議会で得られる情報や政府の各種施策等の周知を図る。
- ・また、各地商工会議所等の木材活用に資する取組みの好事例を収集し、横展開を図る。

## 課題・連携協力の可能性

- ・事業者等が木材利用のメリットや意義を感じられるための効果的な広報、自治体と地元経済団体との連携強化が課題。

### 関連情報

1. 飯能商工会議所 : <https://www.rinya.maff.go.jp/j/rinsei/singikai/attach/pdf/210115si-11.pdf>  
(林政審議会 (2021年1月18日開催) における同所提出資料)
2. 鹿沼商工会議所 : <http://www.kanumacci.org/category/2026307.html>



## ウッド・チェンジ・アクション

- 当連合会の会員企業及び会員団体傘下企業は、戸建住宅の大多数を木造で整備（鉄骨系プレハブ住宅メーカーも木造住宅をラインアップ）。
- 会員団体の日本木造住宅産業協会及び日本ツーバイフォー建築協会は、木造の耐火性能向上ための研究・技術開発に取組み、大臣認定を取得。会員企業の住友林業がW350計画の実現に向けた取組みを進めるほか、三井ホームは木造・RC混構造の中層マンションを整備。
- 中高層木造建築物の発展を目指す国際的イベントWOODRISE 2021 KYOTOの組織委員会に参画し、木造建築技術に関する先進各国の知見の集積・交流等を推進。
- 林野庁及び国土交通省に対し「国産木材の安定的な需給体制の確立」を要望（令和4年度施策要望）。
- 大規模災害時の仮設住宅の木造化。

## 今後のチャレンジ

- 木造の耐火性能向上に係る技術の普及を図り、都市部における中高層木造の拡大に取り組む。
- 木造・木質化の推進とウッドショックの再発抑止の観点から、林野庁及び国土交通省が連携して行う国産木材の安定的な需給体制の確立に住宅事業者の立場から協力。
- 2050年カーボンニュートラル達成に向け、ZEH等の普及拡大が課題となっていることを踏まえ、木造住宅の主要な担い手である中小事業者を対象とする省エネ研修を拡充・継続。

## 課題・連携協力の可能性

- 木造建築物の設計・施工者の育成
- 外国産木材に対抗できる低廉良質な国産木材の安定的な供給体制の実現

### 関連情報

一般社団法人 住宅生産団体連合会 ホームページ：<http://www.judanren.or.jp/>



## ウッド・チェンジ・アクション

大規模・中高層建築物の木造・木質化を推進

1. 社会的認知度の向上
  - ・木造・木質建築物の事例・関連情報の集約
  - ・LCCO2削減量の算定方法に関する情報の整備
2. 木材利用のメリットの向上
  - ・木材利用のメリット・デメリットの整理・発信
3. RC造、S造との価格競争力の向上
  - ・標準化・規格化によるコスト削減
4. 防耐火規制の合理化
  - ・現行法令の適用により実現した木造・木質建築の事例収集
  - ・関連法令の合理化等に向けた意見の集約、提案

## 今後のチャレンジ

- 建設業における脱炭素社会実現への貢献
  - ・製造・施工段階におけるCO2排出量低減
  - ・運用時と解体後の再利用によるCO2固定量拡大
- 建設業における非住宅分野への木材利用拡大
  - ・鉄やコンクリートに代わる材料としての木材利用
  - ・森林資源と地域経済の持続可能な好循環の創出
- 建設業における労働力不足と働き方改革への貢献
  - ・軽量・加工容易性による生産性の向上
  - ・工場生産・ユニット化工法による生産性の向上

## 課題・連携協力の可能性

- ・川上(林業)・川中(木材メーカー)と川下(建設業)との木材利用・調達における課題共有と連携協力
- ・規制緩和・合理化に向けた行政庁との連携協力

## 関連情報

一般社団法人 日本建設業連合会 ホームページ : <https://www.nikkenren.com/>



## ウッド・チェンジ・アクション

- ◆ 2015年8月、わが国の木の文化を世界に向けて発信するとともに、地方の林業と木材産業の活性化に寄与するため、新国立競技場の屋根構造の木造化をオリパラ担当大臣他関係者に提言。
- ◆ 第60回建築士会全国大会京都大会（2017年12月）を「山とまちと木造建築」をテーマに開催。川上から川下が一体となった取り組みの重要性を確認するとともに、連合会、建築士会の活動を方向づけ。
- ◆ 2020年、連合会に木のまちづくり部会を設置し、木造住宅・中大規模木造建築物の設計・工事監理、施工に関する課題等について議論を開始。
- ◆ 埼玉建築士会、愛知建築士会等において、川上、川中、川下が連携しつつ、中大規模木造建築技術者の養成を実施。

## 今後のチャレンジ

- ◆ 埼玉建築士会、愛知建築士会の取り組みを全国の建築士会に横展開を図り、中大規模木造建築技術者の養成を推進。
- ◆ 「木の建築賞」をNPO法人木の建築フォーラムと共催し、今年度から全国7ブロック単位で巡回実施。木の建築や木の利用に関わる活動を顕彰することで、木造建築物の普及を促進。
- ◆ 官民の協力により技術者の育成、木造建築物の普及を推進するため、行政との間で建築物木材利用促進協定の締結を目指す。

## 課題・連携協力の可能性

- ◆ 連合会の取り組みのみならず、地域の木材流通ネットワークの構築に資するため、都道府県の建築士会と関係団体との一層の連携が重要。

## 関連情報

第60回建築士会全国大会：[https://www.kenchikushikai.or.jp/torikumi/zenkokutaikai/60th\\_kyoto/index.html](https://www.kenchikushikai.or.jp/torikumi/zenkokutaikai/60th_kyoto/index.html)

2021年度 第16回木の建築賞：[http://www.forum.or.jp/menu2\\_10.html](http://www.forum.or.jp/menu2_10.html)



## ウッド・チェンジ・アクション

ビル・建物についての木材利用の先進事例について、会員ビル事業者宛てに見学会・講演会を開催する。

## 今後のチャレンジ

左記に加え、本協議会の状況や木材利用の取り組みについて、機関紙等で紹介、周知する。

## 課題・連携協力の可能性

### 関連情報

日本ビルディング協会HP <http://www.jboma.or.jp/>



## ウッド・チェンジ・アクション

- 中高層建築物における木材利用を念頭においた、
  - ・「CLTの普及に向けた新たなロードマップ」の策定段階において、デベロッパーの課題認識に係る情報の集約と提供
  - ・内閣官房・林野庁・国土交通省による当協会会員宛て同ロードマップに係る説明会を通じた官民交流の機会設定
  - ・同ロードマップに関連する委員会等への参加と、デベロッパー目線での情報発信
  - ・関係省庁・木材関連団体等で行われる各種活動への参加及当協会会員宛て周知

## 今後のチャレンジ

- 徐々に増えつつある事例を通じ生じた新たな課題等について、関係省庁等宛て情報発信
- 個別課題の意見交換や、現地視察等を通じた官民（個社）の交流機会の設定
- 同ロードマップに基づく課題解決に対する協力

## 課題・連携協力の可能性

- 課題  
コスト優位性の確保、防耐火・構造等基準の合理化、脱炭素効果の評価方法の確立等
- 連携協力の可能性  
関係省庁・関係団体・民間企業との橋渡し

### 関連情報

一般社団法人 不動産協会

会員数：158社（令和3年10月1日現在）

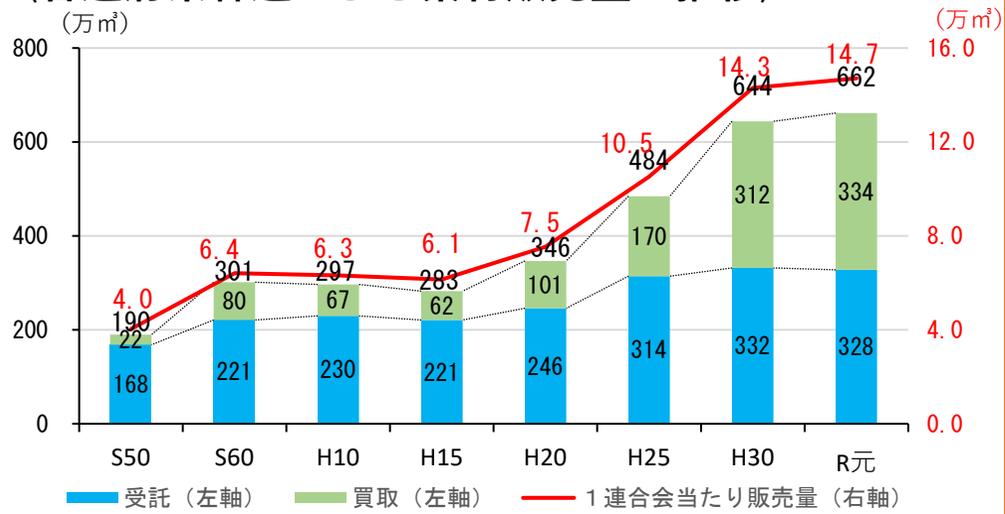
ホームページ：<https://www.fdk.or.jp/index.html>



# 全国森林組合連合会（組合員150万人、610組合、45道府県森連）

## ウッド・チェンジ・アクション

### 〈各道府県森連による素材販売量の推移〉



### ※県森連事務所建替えに伴う国産材利用（H28～現在）

- ・高知県森連（H28 547m³）
- ・熊本県森連（H30 210m³）
- ・兵庫県森連（H31 229m³）
- ・北海道森連（R1 237m³）
- ・滋賀県森連（R3 129m³）
- ・岡山県森連（R3 84m³）



CLTを225㎡活用した兵庫県森連新事務所

## 今後のチャレンジ

### 〈循環型林業の確立と森林組合系統による木材販売力の強化〉

- 森林の適切な整備と災害対応
- 低コスト・循環型林業の確立
- 原木共同販売体制の構築と事業連携の推進

※新たな森林組合系統運動（R3～R12年度）  
～JForestビジョン2030（仮称）～

## 課題・連携協力の可能性

- 人材の確保・育成、労働災害撲滅
- インフラ（林道・作業道）整備
- 自然災害への対応
- 川中との連携強化（安定的取引）

## 関連情報

全国森林組合連合会 HP

<http://www.zenmori.org/>



## ウッド・チェンジ・アクション

1. 都市の木造化・木質化に向けたネットワークの構築  
・森林・林業、木材産業、建築・建設関係団体による協議会  
・議員連盟、知事会、政令都市議連、経済団体等との連携
2. 非住宅建築物へのJAS構造材の活用、外構部の木質化等都市の木造化・木質化の促進
3. 建築設計者に対する木造中高層建築に関する技術普及活動（埼玉、栃木、千葉、愛知、広島、佐賀など）
4. 内装、家具等高付加価値利用に向けた取組み強化  
・デザイナー、クリエイター等との対話
5. クリーンウッド（合法伐採木材）の普及拡大

## 今後のチャレンジ

- ・「伐って、使って、植えて、育てる」森林資源の循環利用の定着
- ・非住宅建築における木材利用拡大
- ・消費地である「都市」での木造、木質化の推進
- ・環境価値を含めた国産材の高付加価値利用の拡大
- ・JAS材、グリーンウッド等の普及拡大

## 課題・連携協力の可能性

- ・幅広い関係者による国産材利用についての国民運動の展開
- ・「山に返せる」国産材利用の拡大

### 関連情報

森林(もり)を活かす都市(まち)の木造化推進協議会 <https://machi-mokuzouka.jp/>  
 木材利用推進中央協議会 <http://www.jcatu.jp/home/>  
 JAS構造材利用拡大 <https://www.jas-kouzouzai.jp/>、 外構部の木質化 <https://love.kinohei.jp/>



## ウッド・チェンジ・アクション

### 1.住宅用プレカット加工機を用いた庁舎の加工

- ・高精度かつ低コスト化の実現
- ・プレカットと相性のよい架構を設計者と協働で計画
- ・地域材を用いた大規模建築を連携で実現



### 2.これまで鉄骨造で建てられてきた建築を木造にチェンジ

- ・大規模な商業建築を木造化
- ・住宅と同じ架構形式で、工期の合理化を可能に
- ・建築物の重量の軽減で、環境負荷の高いRC基礎を簡略化



## 今後のチャレンジ

- 一般流通材を用いたトラス標準図の整備
- 一般流通材を用いたトラスマニュアルの整備
- 軸組工法に用いる高倍率のCLT耐力壁の開発
- 高倍率の耐力壁に用いる柱頭柱脚金物の開発
- 実例による国産材を活用した普及セミナーの企画
- 中大規模積算講習会の開催
- トラスマニュアル（キングポスト・平行弦・張弦）講習会の開催
- 見学会の実施（実例・プレカット工場）
- 恒久的な国産材利用を見据えた仕組みづくり
- 取り組みを通して、中大規模木造の普及を狙う

## 課題・連携協力の可能性

まだまだ認知されていない、大きな市場が見込まれる、「普通の」中大規模木造建築の普及に取り組むことが必要。また、国産材の生産システムを確立するために日常的に国産材利用をされる仕組みづくりを一緒に考えていく必要がある。

## 関連情報

技術情報や講習会の予定はこちらから <https://www.precut.jp/>



## ウッド・チェンジ・アクション

～会員の取組み事例～  
ネットヨタ和歌山 田辺店建替工事



地元紀州材に拘り、内装材や家具、おもちゃの材料として、様々な箇所異なる加工を施して使用し、人と人、人と木が触れ合う温かみと機能性を兼ね備えた店舗としました。また、店舗中央に紀南の風景を模した9.1mにおよぶ木製壁画（層風景）設置しています。この壁画は「みんなで店舗を創り上げる」をコンセプトに、様々な加工を施した紀州材を用いて地域の方々と共に制作し、地域社会と店舗を繋ぐ絆の象徴としています。

## 今後のチャレンジ

### ①KINOWA活動

コミュニケーションコンセプトに「KINOWA」活動を掲げ、木と気づかいで人とまちとクルマをつなげる活動を進め、店舗のファンづくり、地域のコミュニティの増進に貢献しSDGsの推進にも努めます。



### ②内装木質化推進

新規出店となるGR Garageわかやま岩出店でも紀州材による内装の木質化やイベント等を実施。



## 課題・連携協力の可能性

【課題】

木質化したハードを活かす人材づくりや継続力の確保。商業施設等への木質化に対する補助等

### 関連情報

マルカ林業(株) <http://www.maruka-forestry.com>

(株)山長商店 <https://yamacho-net.co.jp>

わかやま木育キャラバン実行委員会FB <https://www.facebook.com/wakayama.mokuiku>

ネットヨタ和歌山(株) <https://www.netz-w.com>

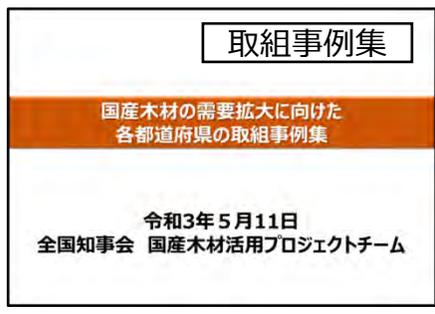


## ウッド・チェンジ・アクション

- 国への提言策定・関係省庁への要請活動の実施
  - 「5つの重点事項」を中心に要請
    - 民間非住宅建築物の木造化・木質化の推進
    - 木塀の普及
    - 木材・木材製品の輸出拡大
    - 財源の確保
    - 建築士等の育成
- 「国産木材需要拡大宣言」に基づく各自治体の取組
  - 国産木材活用推進に係る取組事例集の作成
  - いくつかの取組についてはP T会議の場で発表  
⇒優良事例の横展開を積極的に実施



要請活動の様子



取組事例集

## 今後のチャレンジ

- 国産木材の「需要創出」と「供給体制の整備」の着実な推進
  - 国等との連携(「5つの重点事項」)
    - CLT等の普及
    - 民間事業者や地方公共団体の木塀設置に対する支援
    - 建築士等を増加させるために地方公共団体等が実施するリカレント教育などに対する支援 等
  - 取組好事例の共有

## 課題・連携協力の可能性

- 国産木材活用の意義や魅力の周知・啓発
  - 他団体と連携したイベント開催・P R
- 木材需要者と木材供給者を繋ぐ仕組みの構築
  - 林業DXに繋がる各種システムの構築 等

### 関連情報

全国知事会 国産木材活用P T H P :

[http://www.nga.gr.jp/data/activity/committee\\_pt/project/kukusan\\_mokuzai\\_katsuyou\\_pt/index.html](http://www.nga.gr.jp/data/activity/committee_pt/project/kukusan_mokuzai_katsuyou_pt/index.html)

※ H P 内に「国産木材活用についての基本情報」のコンテンツがあり、木材の魅力等についてP R



## ウッド・チェンジ・アクション

### ◆ 林政問題に関する研究会 (委員市117市 令和3年9月末時点)

- ・ 林野行政を取り巻く諸課題等についての情報収集・意見交換を行うとともに、林野行政の今後のあり方等について調査研究を実施。
- ・ 「森林・林業に関する提言」のとりまとめ。地域材の安定的・効率的な供給体制の構築、国産材の利用拡大の推進、CLTの普及、公共建築物等の木造化・木質化の推進等について提言。
- ・ 委員市 (岡山県真庭市) の取組事例  
 公共施設等の木造化・木質化  
 (CLT構造市営住宅、木造教育施設の建設等)  
 CLTの普及促進活動の実施  
 民間木造住宅の新築・改修等の支援

## 今後のチャレンジ

- ◆ 国産材の利活用の重要性について理解を深めるため、林政問題に関する研究会において、木材利用に係る優良事例や、先進的な都市自治体の取組等について情報共有。
- ◆ 国産材の利用拡大、CLTの普及、公共建築物等の木造化・木質化の推進について、提言のとりまとめ及び関係府省庁への要望活動を引き続き実施。

## 課題・連携協力の可能性

- ◆ 木材加工流通施設等の整備、公共建築物等の木造化・木質化に係る財政支援、施工者の技術力向上に係る支援等が課題

### 関連情報

林政問題に関する研究会「森林・林業に関する提言」(令和3年10月)

[http://www.mayors.or.jp/p\\_opinion/o\\_teigen/2021/10/211011rinsei-teigen.php](http://www.mayors.or.jp/p_opinion/o_teigen/2021/10/211011rinsei-teigen.php)



## ウッド・チェンジ・アクション

群馬県甘楽町は、平成28年4月に統合中学校を建設しました。建設にあたり町有林から切り出した約1,300本の杉や檜を使用しました。教室や廊下の腰板及び引き戸や収納棚等に活用し、木の優しさやあたたかさを体感できる施設となっています。

この校舎は、木を教室や廊下等に使うことで、子供達がリラックスして学べる場となっています。



## 今後のチャレンジ

令和4年4月開校予定の幼保連携型認定こども園「めぶきの森かんら」は現在建設中で、施設内に県産木材を使用したウッドデッキを建設予定となっています。

町では、甘楽町木材利用促進方針に沿って、今後も公共建築物の整備における木材利用の促進を進めていきます。



## 課題・連携協力の可能性

木材を使用したことで、建設コストが上がりましたが、県と連携し補助金制度の活用を含めて県産木材の利用を図ります。

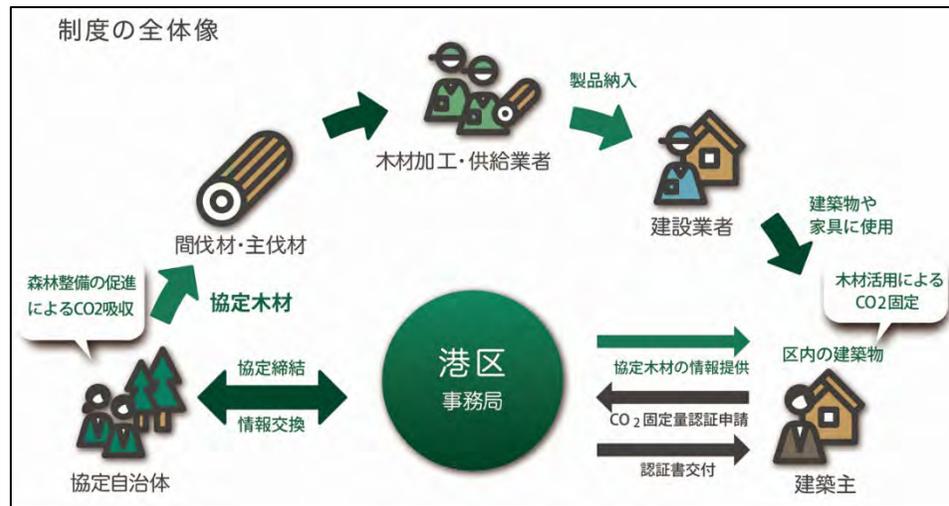
### 関連情報

甘楽町公式ホームページ <https://www.town.kanra.lg.jp>



## ウッド・チェンジ・アクション

2010年2月、港区を含む16自治体が「みなと森と水ネットワーク会議」を発足し、二酸化炭素の削減に取り組む都市部の港区と、林業の活性化を図る森林資源が豊富な自治体とが、それぞれの課題解決を図るため、連携することで補完し合う、国産木材の活用に向けた仕組みづくりを行いました。2011年10月から、建築物等への国産木材の使用を推進する「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度」を開始し、制度の開始から10年を迎えました。



## 今後のチャレンジ

毎年10月～11月頃に協定自治体の首長が一堂に会し、取組の方向性を議論しております。今年、議論に基づく方針により情報発信の強化に取り組んでいます。1月にはYouTubeチャンネルを開設し、みなとモデル制度の取組概要から林産地の案内、木材の魅力についての専門家の対談、サミットの様子、協定自治体の紹介など映像を活用した発信を行っています。

今後の取組の方向性については令和3年10月に議論する予定です。

## 課題・連携協力の可能性

協定自治体数が約80、みなとモデル登録事業者数が約400あり、全国の自治体や登録事業者と連携しております。

## 関連情報

ホームページ：<http://www.uni4m.or.jp/>

Youtubeチャンネル：[https://www.youtube.com/channel/UCK6Mb9ib\\_VEaU3kOKwwRgUQ](https://www.youtube.com/channel/UCK6Mb9ib_VEaU3kOKwwRgUQ)



# ウッドソリューション・ネットワーク（事務局：農林中央金庫）

## ウッド・チェンジ・アクション

・ウッドソリューション・ネットワーク（以下WSN）では、昨年までに、会員により施主の啓発等を目的とした非住宅木造建築や内装木質化の普及を目指すアプローチブック2冊を発刊。

・WSN会員が中心となって、各経済団体や自治体向けに上記のアプローチブック2冊を活用した提案活動を行い、WSN会員企業の営業活動でも本誌活用いただき施主への普及・啓発等を行っている。具体的には、まずは、行政等が主催のイベントへの出講等を通じ、普及推進を進めている段階。



出講の様子①



出講の様子②

## 今後のチャレンジ

・今後もWSN会員が中心となって全国・都道府県レベルの民間・行政団体と連携し、出講予定（現在の実績：全国レベル5件、都道府県レベル14件、民間1件の出講等）。

・なお、WSNは現在第2クール2年目の活動中。活動テーマのひとつである「森林環境譲与税」について自治体へのヒアリングや成果物制作について取組中。

・テーマ「ESG投資/SDGs」については、森林・林業・木材産業に関わる方々を対象に木材産業とSDGsやESGの関係について初歩から学べるオンラインセミナーを東京大学と共催して実施中。

## 課題・連携協力の可能性

・全国都道府県レベルの民間・行政団体や森林環境譲与税について用途を検討している地方公共団体との連携協力余地あり。

## 関連情報

ウッドソリューション・ネットワークHP：<https://www.wsnk.org>（以下の2冊はHPでダウンロード可）

- ・非住宅木造普及推進アプローチブック「時流をつかめ！企業価値を高める木造建築」
- ・内装木質化普及推進アプローチブック「MOKU LOVE DESIGN 木質空間デザイン・アプローチブック」



## ウッド・チェンジ・アクション

- ・国際観光施設協会は「木」の持つ優しさや温もりが、観光交流空間のホスピタリティを生み出し、魅力向上につながる事に着目、また国産材の使用が都市と地方との自然循環社会を創出し、地方創生と都市の魅力向上につながると考え、国産材の使用を推奨する活動を続けた来た。
- ・2012年に「木のちから」を活動テーマに国産木材の観光施設への利用促進を提案、2015年よりは活動テーマを「木づかいのこころ」として「美畜木道」を提案し「国際ホテル・レストランショー」にて提案・展示した。
- ・2018年には木材の地産地消の一例として「Ki-saku」を提案し、現在も「木づかいのこころ」の活動を継続している。



美畜木道の展示



## 今後のチャレンジ

- ・今年度は全国から寄せられた木材を使用し、オリンピック選手村に建設された仮施設「ビレッジプラザ」の、解体後の木材利用のアイデアを当協会会員宛に募集し、その成果を提案するとともに「木づかいのこころ」活動を会員全体の活動として広げて行くことにチャレンジ。
- ・今後も継続して活動し会員企業に対し国産木材の使用に対する情報提供を行う。



## 課題・連携協力の可能性

- ・会員企業は各々SDG'sの取り組みを行っており、国産木材の使用も進めている。当協会は「木づかいのこころ」活動を通して会員と連携、あるいは結びつける事で、新たな価値の創出する可能性を持つ。

### 関連情報

国際観光施設協会ホームページ <https://www.kankou-fa.jp>



## ウッド・チェンジ・アクション

### JAPICの目標

“林業の成長産業化” “地域創生”

### JAPICの取組 (国産材需要拡大のテーマの事例)

- 森林再生事業化委員会  
(委員長：酒井 秀夫 東京大学名誉教授)
  - ・国産材の需要拡大への取り組み
    - ①建築分野における更なる木材利用の推進
    - ②木質バイオマス利用における地域熱利用
    - ③木材(丸太)による地盤強化
    - ④輸出向け販路拡大
- 林業復活・地域創生を推進する国民会議  
(会長：三村 明夫 日本商工会議所会頭)
  - ・中高層ビル等への国産材利用



本郷林野庁長官(当時)への提言手交



国民会議開催の様子

## 今後のチャレンジ

- 新たな視点も加えた取組の継続
  - ①実現に向けた検討深化
  - ②林業イノベーション (ex. 林業DX)
  - ③カーボンニュートラルへの貢献
  - ④働き方改革への貢献



先進事例視察の様子  
(大東建託(株) ROOFLAG)



先進事例視察の様子  
((株)竹中工務店 フラッツ ウッズ 木場)

## 課題・連携協力の可能性

産官学交流のプラットフォームとして、引き続き情報共有や政策提言を精力的に実施して参ります。

## 関連情報

JAPIC森林再生事業化委員会：[http://japic.org/project\\_outline/forest/index.html](http://japic.org/project_outline/forest/index.html)

林業復活・地域創生を推進する国民会議：<http://www.ringyoufukkatsu-shinrinsaisei.jp/conference/>